



修学旅行（奈良・京都）

6月11日、12日と6年生が奈良・京都方面へ修学旅行でした。お天気が心配される中、法隆寺では傘の出番はありませんでしたが、奈良公園では激しい雨に降られてしまいました。雨模様の中、かなりの距離を歩きましたが、見る物がたくさんあり、悠久の歴史を感じることができたのではないのでしょうか。京都に入ってから雨にも合うことなく、2日間奈良・京都の歴史を知るとともに、公共の場でのマナーを学び、仲間との良き思い出を心に刻むことができた修学旅行になったと思います。



いちごの学習



6月初め、江川さんのいちごハウスで、全校児童が2学年ずつ3日に分かれて、いちごの学習（いちご狩り体験）をさせていただきました。いちごの実ができるには、ミツバチが受粉をさせていることや、ハウスの温度管理、苗づくりなど、収穫までのお仕事について教えていただきました。

また、お楽しみのいちご狩り体験では、「おいしい！」という声があちこちから聞こえ、「40個食べた！」という子もいました。お土産用のいちごまでいただき、子どもたちは大満足でした。貴重な体験をさせていただいた江川さんには、感謝申し上げます。また、来年もぜひお願いします。

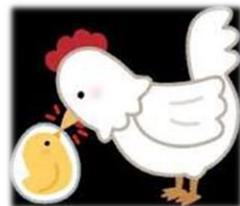


「田んぼの学校」



6月9日（月）、登校するとアイガモの3個の卵にひびが入っていました。お昼ごろにはちょっとだけくちばしが見えるくらいの穴が開いてきています。「啐啄同時（そったどうじ）」という言葉があります。絶妙なタイミングで内側と外側から互いに協力することで、目標を達成するという意味の禅語です。ヒナ鳥が卵の内側からつつき、親鳥が外側からつつき、両者が協力することで卵が割れてヒナ鳥が生まれる様子を表します。この言葉は、教育や子育て、指導において、相手の成長を促すタイミングの重要性を説明する際によく使われます。

学校のアイガモたちはふ卵器で育てているので、外からつついてくれる親鳥はいませんが、教頭先生が親鳥になって、ちょっとだけ手助けしています。



「梅ジュース」

JAさんより梅をいただきました。3年生が梅ジュース作りに挑戦！

洗って、拭いて、へたを取り、つまようじでつついて果汁が出やすいようにしてから砂糖で漬け込みました。ひと月ほど漬け込めば、おいしいジュースが出来上がる予定。たまに混ぜたりしながら楽しみに待ちましょう！

